



ASKOTM

あすこっとむ vol.5

両毛広域生涯学習ネットワーク推進協議会ってなに？

足利市・佐野市・桐生市・太田市・館林市・みどり市の6市で構成され、両毛地域という日常生活圏での広域学習ネットワークの構築に向けて結成されたものです。

事業・情報・施設等、様々なネットワーク化について検討、研究、実践をしています。



「太田市生涯学習振興大会」両毛6市コーナー出展の様子

ASKOTM(アスコットム)ってなに？

足利市のA、佐野市のS、桐生市のK、太田市のO、館林市のT、みどり市のM、それぞれの市のアルファベットから頭文字をつなげてつくった造語です。両毛6市の市・県域を越えた連携により、様々な生涯学習に関するネットワークが形成、発展することへの願いが込められています。

広域的な情報の収集と提供、様々なネットワーク化に向けた学習情報などを、わかりやすく身近にお届けします。

皆様の生涯学習のための情報紙としてお役立てください。

主な活動は??

☆ 情報のネットワーク事業

- ①両毛広域生涯学習情報紙の発行
- ②生涯学習情報システムの調査研究

☆ 公民館ネットワーク事業

- ①公民館職員研修
- ②公民館だよりの交換
- ③公民館現況調査

☆ 両毛ねっとのPR事業

- ①各市の生涯学習事業（公民館まつり等）に両毛6市コーナーを出展
- ②PRリーフレット・グッズの配付

編集
発行



足利学校 『足利市の教育目標』があるまち

足利市の教育目標について

「足利市の教育目標」は、多くの市民の皆さんのご協力をいただき、昭和56年に設定されました。

この教育目標は、家庭教育や学校教育、社会教育などの教育のすべてをまとめて作られており、内容を大

きくとらえると7つの柱に分かれます。この内容の柱ごとに年齢別に区分された乳幼児期から児童期、青年期、壮年期、高齢期までの各発達段階に即した人生各期にわたる全部で70の目標と、その具現化のため

の具体策及び教育機能連関から成り立っています。

「足利市の教育目標」には、市民の皆さんが自由に自立しつつ、しかも広い社会性を身につけ、思いやりと生きがいに満ちた心豊かな市民になっていただきたいとの願いが込められています。

教育目標と生涯学習

「足利市の教育目標」は、家庭や地域、学校、職場、行政が連携を図りながら、市民一人ひとりが、自分に合ったそれぞれの目標を立て、自ら主体的に実践していくための教育的基礎資料として作られています。

このため、この教育目標を参考にして、自分や家庭の学習目標などを立て、家庭や地域、職場などで実践することが必要となります。

生涯学習は、市民の皆さん一人ひとりに必要に応じて、主体的に取り

組むべきものであり、その学習目標も自分に合ったものを決定することが基本となります。

本市では、この「足利市の教育目標」の具現化を図ることが、生涯学習社会の実現に通じることと位置づけて、その推進に努めています。

☆足利市の教育目標7つの柱☆

1. 郷土の自然や文化財の愛護と文化の振興
2. 健康・安全の保持増進
3. 社会連帯感の育成
4. よき家庭人の育成
5. よき職業人の育成
6. 主体的な生活態度の育成
7. 国際社会に生きる日本人としての自覚

紹介します！市民企画実践講座！

市民相互の交流や、ネットワークを活かした市民参加型の学習機会を提供し、学習成果を活用するため、市民が自ら企画・運営・実施する講座を支援しています。

平成20年度は、ヴァイオリン、演劇、ゴスペル、子育て、古文書、三味線に係る6団体が実施しました。



ヴァイオリン講座の様子



足利市生涯学習センターホームページ

学級・講座、イベント、団体・サークル、指導者の情報など、情報満載です！

<http://www.ashikaga-gakushu.jp>

お問い合わせ先：足利市生涯学習センター内
足利市教育委員会事務局
生涯学習課

TEL：0284-43-1311

FAX：0284-43-1315

Mail：syougai@city.ashikaga.tochigi.jp

manabee-3ℓ-1011@ashikaga-gakushu.jp

佐野市の生涯学習

平成17年2月28日、旧佐野市・安蘇郡田沼町・葛生町が合併し、人口約12万7千人の新しい佐野市が誕生しました。

現在、佐野市は、生涯学習推進の基本理念のメインテーマを「私らしさ このまちに 咲かせます」と定め、「楽習」と「参画」を結びつけた「生涯学習によるまちづくり」を全庁的に推進しています。

平成19年12月には、佐野市における生涯学習の方向性を明確に示し、生涯学習活動を市民に広く呼びかけるため『「楽習と参画のまち佐野」都市宣言』を制定しました。

また、平成20年3月には、佐野市の生涯学習推進と市民の「まちづくりへの参画」を結び付け、新たな展開と発展を実現することを目指し、「佐野市生涯学習推進基本構想・基本計画」を策定しました。



佐野市民体育祭

楽習とは？

「楽習(がくしゅう)」とは、「楽しく学習する」という意味の造語です。「楽」は「ラク」という意味ではなく、「本当の楽しさ」という意味を持っています。

生涯学習は個人の自発的意志による自由な活動であり、これを楽しく行うことを佐野市は「楽習」と表現しています。

活躍中です！楽習講師

●楽習講師とは？

楽習講師とは、佐野市民の皆さんの学習活動をボランティアで支援して下さる「生涯学習ボランティア講師」です。平成21年3月現在、180人を超える講師の方が登録しています。

楽習講師に登録すると「楽習出前講座」と「楽習講師企画講座」を開催することが可能です。いずれも、受講者となる市民の方の学習を支援すると共に、講師の方の学習成果の発表の場を提供し、生涯学習の更なる活性化を促しています。

●楽習出前講座

市民の皆様のリクエストに応じて楽習講師や市職員が出向き、講話や実習を無料で行う講座です。

＜平成20年度実績＞

実施回数 134回 受講者数 3,452人

●楽習講師企画講座

楽習講師の方が自ら企画・運営し生涯学習課が広報や会場確保等をサポートする講座です。

＜平成20年度実績＞

実施回数 18回 受講者数 813人



楽習講師による一大イベント「楽習講師フェア」での、アメリカンフラワー体験コーナーの様子です。

「楽習と参画のまち佐野」都市宣言

私たち佐野市民は、ひとりひとりが楽習をとおして個人として深まり、その個性を生かし、協働して佐野のまちづくりに参画します。たがいに自分らしさを認めあい、支えあい、はぐくみあう仲間をつくります。まちづくりへの参画のなかで、自分らしさを佐野のまちに咲かせます。

私たちはふるさとを守り、はぐくみます。家庭、地域、学校、職場のなかで、世代や価値観の違いを越えた心の交流を広め、安全で安心なまちをつくります。子育てのなかで親が育ち、子どもが愛されて育つまちをつくります。

私たちは佐野のもつすばらしい自然と文化を学びます。ふるさとの自然を守り、ふるさとから文化を発信します。

ここに佐野市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。
平成19年12月25日

佐野市

お問い合わせ先：佐野市教育委員会生涯学習課

TEL 0283-86-3495 (直通) FAX 0283-85-3039

Mail gakyusu@city.sano.lg.jp URL <http://www.city.sano.lg.jp/komoku/syougaigakusyuu/>

KK 桐生市

市民主導でまちづくり！ 生涯学習桐生市民の会を中心に！

桐生市の生涯学習

桐生市の生涯学習は、よりよい地域社会づくりへの市民の活発な活動こそが生涯学習の姿ではないかと考え、生涯学習の目標を“まちづくり”に置き、「自分さがし出会いさがしふるさと夢さがし」をキーワードに、生涯学習桐生市民の会が中心になって推進しています。市民が様々なことを学び自らを高め、問題意識を

持って様々な角度からまちづくりに取り組むことによってこのまちが発展すると考えます。

生涯学習は“承り学習”ではなく、各人の生涯にわたる自発的な学習活動で、その推進にあたっては市民自らが考え行動していくことが大切であり、そうした進め方をとらないかぎり、真に市民の間に根づいた生涯学習社会を実現させることはできないと考えるからです。

また、各地区公民館を主な活動拠点として、生涯学習推進委員がそれぞれの地区の特色を活かした生涯学習活動を展開しており、「桐生を好きな子供の育成」という家庭・学校・地域社会が連携して推進している特別プロジェクトでは、豊かな教育資源を活用し、特色のある事業を展開しています。

生涯学習桐生市民の会

生涯学習桐生市民の会は、平成3年10月に発足し、生涯学習関係団体から推薦された出向者、地区公民館長から推薦された生涯学習推進委員、有識者などで構成されています。現在8つの目的別委員会があり、生涯学習活動を通してのまちづくり・ひとづくりを進めるために様々な活動を続けています。市内外にかかわらず誰でも自由に入退会できますので、興味のある方はぜひ事務局にお問い合わせください。



第7回生涯学習市民フェスティバル

公民館の情報は、 ホームページでも確認OK！

市内16ヶ所の公民館情報が、桐生市のホームページで確認できます。情報は公民館ごとに、①公民館利用案内②公民館施設案内③公民館だより④サークル一覧の項目で情報を見ることができます。また、各公民館において利用者登録の手続きをすると、施設の予約をすることができます。ぜひ、ご覧ください。

★桐生市役所ホームページアドレス★

<http://www.city.kiryu.gunma.jp/>



流しそうめんを楽しむ子ども（生涯学習桐生市民の会ジュニア・プレス委員会）



生き生き市役所出前講座

「生き生き市役所出前講座」は平成12年1月から始まり、市民の皆さんが知りたい、聞きたい、学びたい市役所の仕事を職員が出向いて説明しています。市役所を身近に感じ、また市民の皆さんの暮らしとのかかわりあいをより一層理解していただけるよう、講座内容等を色々工夫しています。

★平成19年度の実績★

実施件数 112件 受講者数 5,035人

★平成19年度・講座ベスト5★

「いのちを守る」応急手当	12件
消費者啓発出前講座	8件
介護予防と認知症	8件
なるほど！「介護保険」	8件
子育て体験学習	6件

お問い合わせ先：桐生市教育委員会生涯学習課

TEL 0277-46-1111（内線270）

FAX 0277-46-1109

Mail shogai@city.kiryu.gunma.jp



地域の特色を生かした 生涯学習の推進

基本理念

太田市教育委員会は、高い知性、豊かな情操と徳性、優れた創造性とたくましい意思を備えた、心身ともに健康で規律ある人間の育成を目指した教育の推進を図ります。また、市民一人ひとりが生涯を通じて学習できる生涯学習の構築を図ります。

太田市の生涯学習

○目標

太田市は家庭や地域社会における社会教育の向上のため、関係機関と連携を図り、市民一人ひとりが生涯を通じて様々な学習活動を実践し、芸術・文化に親しみ、生涯学習の構築に努めます。

○重点施策

- (1) 生涯学習推進体制の整備・推進
- (2) 生涯学習ネットワークの推進
- (3) 芸術文化活動の推進
- (4) 人権教育の推進
- (5) 中・高齢者対策に向けた生き甲斐づくりの推進
- (6) 社会教育施設の利用促進・整備



市民講座の様子

中・高齢者生き甲斐づくり推進事業



太田市生涯学習振興大会の様子

太田市では平成20年度より各地域の中・高齢者を対象に、各地域の特性に合った事業を推進し、地域活力を創設するとともに、個人の生き甲斐づくりや学習意欲の向上を図る事業を展開します。

各地区の区長を中心に各種団体の代表者並びに生涯学習推進に熱意及び理解のある方々で構成する「地区生涯学習推進協議会」を新たに立ち上げ、この協議会が主体となって、各地区の行政センターと連携しながら、地域づくり・街づくり講演会、シルバースポーツフェスティバル、エコ活動、ボランティア活動、世代間交流などの事業を地域住民との協働により実施していきます。

お問い合わせ先：太田市教育委員会生涯学習文化課
(太田市社会教育総合センター)

TEL 0276-22-3442

FAX 0276-22-3488

Mail 043100@mx.city.ota.gunma.jp

☆現況と課題

館林市では、住民一人ひとりが「自己実現」を図り「生きがい」を高めるため、子どもから高齢者まで住民の自主的・自発的な学習ニーズに対応した学習機会や学習情報の提供、学習機会選択のための相談、団体やサークルの支援を行うとともに、学習した成果を活かす場の提供や自然体験、社会体験活動事業などを行っています。

今後は、社会教育施設の運営や事業の企画などに住民の参加を得るとともに、地域の課題解決に取り組むために必要な学習プログラムの開発、学習の成果を生かした地域ボランティアや指導者として活動できる仕組みや、民間を含めた地域の様々な情報を収集・提供するなどの仕組みを確立することが重要な課題であると考えています。

☆新米ママの強い味方!!

「子育て支援ボランティアすくすくサポート隊」

子育て経験もなく、孤立しがちな若い母親に、「すくすくサポート隊」のメンバーが子育ての先輩として、子育ての悩みや相談にのります。

毎月1・2回、市内5つの公民館に集まり、訪れる母子と一緒に活動します。一緒に、遊んだり、子育てに関する話をする中で子育てに対する不安をなくしていこうという活動です。



現在、郷谷・六郷・三野谷・渡瀬・分福公民館で活動中です!!

☆4泊5日でちょっぴり成長!!

「通学合宿」



小学4年生から中学3年生までの児童・生徒が親を離れ、公民館から通学する「通学合宿」は、異なる年齢の子ども達同士で食事準備や掃除、洗濯などの共同生活や地域探索を通じ、人と人のふれあいや家庭のありがたさを実感し、生きる力を育むことを目的としています。

また、地域の人が計画段階から参加し、地域の中での子育て(地域で子どもを育てる)を考えるよい機会となっています。

☆館林市生涯学習課のホームページはコチラ!!

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/shogaku/>

お問い合わせ先：館林市教育委員会生涯学習課

TEL 0276-72-4111 (内線 224)

FAX 0276-74-9677

Mail shogaku@city.tatebayashi.gunma.jp

みどり市の生涯学習 ～人を育て、文化をはぐくむまちづくり～

現状と課題

- 市民が生涯にわたって、自ら学び生かすことにより、心豊かな生活を送ることができる社会を目指すため、学習の場と機会を提供し、「いつでも、どこでもだれでも」学べ、活動できる環境づくりを推進する必要があります。
- 情報化・国際化などの進展により、それらの課題に対応した新たな知識や技術を習得できる学習の情報が求められています。

必要な施策

1 生涯学習振興計画の策定

生涯学習の指針となる「みどり市生涯学習振興計画」を策定し、体系的・計画的施策への取り組みを進めます。

2 生涯学習環境の充実

市民が主体となる生涯学習社会の実現のため、関係機関と連携して自主的な学習活動の推進、学習の機会や情報の提供に努めます。また、市民の学習相談への対応や子ども読書活動の推進に努めます。

いつでも どこでも だれでも
学べる 生涯学習環境づくり

各行政区生涯学習事業

みどり市各行政区では、それぞれの区の実態や区民の要望に添ってさまざまな生涯学習事業が展開されています。

大間々町の熱心な太極拳の練習風景



東町小夜戸の小正月飾りの花の完成写真です



笠懸町では小学生に地元荒神山の学習のお手伝い



みどり市どこでも出前講座

この講座は、団体やグループなどの活動の場に市職員がうかがい身近な内容の講座をお届けするものです。

地方自治…8講座	産業・経済…4講座
くらし…10講座	観光…1講座
まちづくり…7講座	まなび・文化…15講座
健康・福祉…8講座	

みどり市生涯学習大会

みどり市では、生涯学習を実践・推進している関係者が一堂に会し、生涯学習の重要性を認識するとともに、各団体相互の理解を深めることを目的とし、毎年生涯学習大会を開催しています。平成20年度で第3回大会となり、約300名の市民の方々にご参加いただきました。本年度は5名の方の教育委員会表彰のほか、「文教大学人間科学部教授 野島正也先生」をお招きし、「社会教育と生涯学習」の演題で記念講演を行いました。

お問い合わせ先：みどり市教育委員会社会教育課

TEL 0277-76-9846

FAX 0277-76-1954

Mail shakai-k@city.midori.gunma.jp

両毛広域生涯学習マップ



お問い合わせ先

施設名	住所	電話番号
足利市教育委員会 生涯学習課	〒326-0052 栃木県足利市相生町1-1 (足利市生涯学習センター)	☎0284-43-1311
佐野市教育委員会 生涯学習課	〒327-0595 栃木県佐野市葛生東1丁目11-10	☎0283-86-3495
桐生市教育委員会 生涯学習課	〒376-8501 群馬県桐生市織姫町1-1	☎0277-46-1111
太田市教育委員会 生涯学習文化課	〒373-0025 群馬県太田市熊野町23-19 (太田市社会教育総合センター)	☎0276-22-3442
館林市教育委員会 生涯学習課	〒374-8501 群馬県館林市城町1-1	☎0276-72-4111
みどり市教育委員会 社会教育課	〒376-0192 群馬県みどり市大間々町大間々1511	☎0277-76-9846